

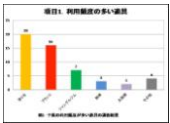
# 野々市市のシンボルとなる遊具の設計

## 《目的》

当初、「安全性を高めた遊具の設計」をテーマに活動していたが、安全性とデザイン性の両立が困難となり、2011年11月11日、野々市町は野々市市として生まれ変わったことをきっかけに、「のっティ」を起用して野々市市のさらなる活性化と「のっティ」をより多くの人に知ってもらおうと考え、安全性と象徴性を十分考慮した遊具を設計した。

## 《アンケート調査》

調査対象: 遊具を使用する子どもの保護者と保育士



## 《顧客の要望》

- ・遊具の接合部で服や手を挟む
- ・遊具からの落下
- ・デザインの優れた遊具

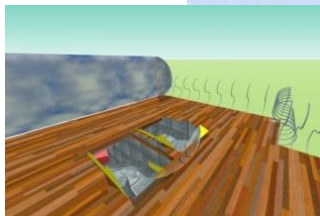
図1, 2のような調査を行った

図1の結果より、利用頻度の多い3つを設計に取り入れる

図2では遊具の危険箇所として、接合部の隙間や滑り台からの落下などが挙げられた

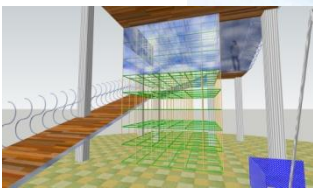
安全性とデザイン性の両立!!

## 完成図

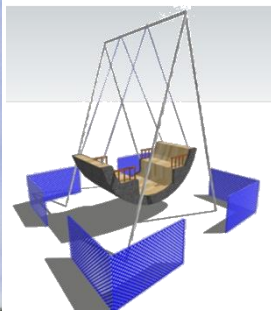


- 屋上—
- ・高さ9mからの眺望
- ・滑り台が2分割

- ジャングルジム—
- ・内部をロープで構成
- ・床全面にゴムクッション採用



安全性を中心に野々市市のシンボルとなる遊具の設計をする



- ブランコ—
- ・柵の設置
- ・座席部周囲にゴム状のクッション採用
- ・吊下げ部にロープを使用

- rock-climbing—
- ・2段構成で2層目へ柵を湾曲させ落下防止

## 《この遊具が与える影響》

1. 野々市市のシンボルキャラクターである「のっティ」が地域に根付き、その存在が多くの人に知られる
2. 新しい「市」の雰囲気盛り上げ、地域の活性化に貢献

金沢工業大学  
2011年度 プロジェクトデザインII  
プロジェクトテーマ : 野々市市のシンボルとなる遊具の設計  
クラス番号 : VA302  
チーム番号 : 01  
チーム名 : こしあん  
チームメンバー名 : 坂田宗次郎 城地亨哉 堀江祥平 中曾夏美 村川佐都史 山本竜太郎  
担当教員名 : 山崎 幹泰 先生